marantz®

CD プレーヤー

CD5005

取扱説明書

目次

使用上のご注意 4
携帯電話使用時のご注意 4
お手入れについて 4
結露（つゆつき）について 4
換気についてのご注意 4
移動させるときのご注意 4
付属品 5
乾電池の入れかた 6
リモコンの使いかた 6
特長 7
高音質 7
多彩な機能 7
各部の名前 8
フロントパネル 8
ディスプレイ 10
リアパネル 11
リモコン 12

接続のしかた

ステレオオーディオアンプを接続する 19
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する 20
リモートコントロール端子付きの機器を接続する 21
接続 21
設定 21
オーディオタイマーに接続する 22
電源コードを接続する 23

再生のしかた

基本操作 25
電源を入れる 25
ディスプレイの明るさを切り替える 26
サウンドモードを切り替える 26
CD を再生する 27
CD を再生する 27
スピードを変えて再生する（ピッチコントロール再生） 29
A-B 間リピート再生をする 30
お好みの順序で再生する（プログラム再生） 30
特定の曲をとばして再生する（デリートプログラム再生） 31
ディスプレイ表示を切り替える（CD-TEXT） 32
データ CD（MP3 および WMA ファイル）を再生する 33
ファイルを再生する 34

設定のしかた

設定メニュー 一覧 36
メニューの操作のしかた 37
Digital Out（デジタル出力） 38
Timer Play（タイマー再生） 38
Display Info（ディスプレイ表示） 39
Auto Standby（オートスタンバイ） 39

困ったときは

こんなときの解決方法 41
故障かな？と思ったら 42
保証と修理について 45

付録

再生できるメディア 47
ディスク 47
ファイル 47
MP3/WMA ファイルの再生順番について 48
フォルダとファイルについて 49
メディア使用時のご注意 50
ディスクの入れかた 50
メディアの取り扱いについて 51
ディスクのお手入れのしかた 51
用語の解説 52
主な仕様 53
索引 56

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、やわらかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま 1〜2 時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させるときのご注意

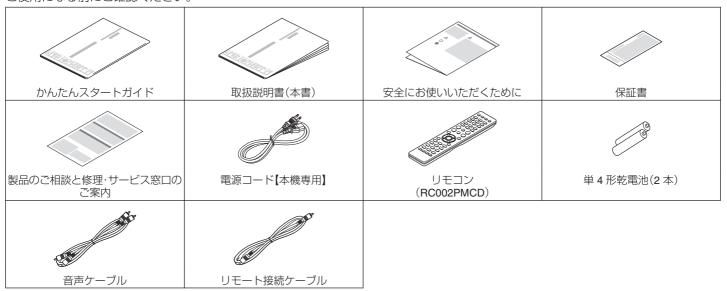
最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

お買い上げいただきありがとうございます。
本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

付属品

ご使用になる前にご確認ください。

かんたんスタートガイド	取扱説明書（本書）	安全にお使いいただくために	保証書
製品のご相談と修理･サービス窓口のご案内	電源コード【本機専用】	リモコン（RC002PMCD）	単 4 形乾電池（2 本）
音声ケーブル	リモート接続ケーブル		

乾電池の入れかた

1　裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。

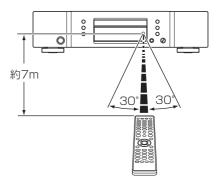
2　乾電池（2 本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。

3　裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに ⊕ 側・⊖ 側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
  - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
  - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。

特長

高音質

- **マランツオリジナル HDAM®SA2 回路を採用**
  上位モデルのスーパーオーディオ CD プレーヤーやアンプで実績のある HDAM®SA2 回路を高速バッファーアンプとして搭載しました。
  クラスを超えたハイスピードで高品位な再生をお楽しみいただけます。
- **シーラスロジック社製高性能 D/A コンバーター CS4398 を搭載**
  音質の重要な要素を占める D/A コンバーターには、当社のスーパーオーディオ CD プレーヤーに採用し、定評のある高精度なシーラスロジック社製 CS4398 を使用しています。
- **Audio EX 機能を搭載(☞26 ページ)**
  デジタル出力やディスプレイ表示をオフに設定することで、アナログ出力の音声を高音質でお楽しみいただけます。
- **高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載**
  高速電流バッファーアンプを搭載した、高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載していますので、深夜にヘッドホンで音楽を聴くときなどに高音質でお楽しみいただけます。

多彩な機能

- **ピッチコントロール機能を搭載(☞29 ページ)**
  CD の再生スピード(ピッチ)を±12 段階の範囲で変えることができます。
  ダンス練習や語学学習などに便利です。
- **MP3、WMA ファイル再生に対応(☞33 ページ)**
  CD-R や CD-RW ディスクに記録した MP3、WMA ファイルを再生できます。
- **CD-TEXT 表示に対応**
  CD-TEXT とは、従来の音楽 CD にアルバム名や曲名などの文字情報を記録した音楽ディスクです。次のようなロゴが付いた CD-TEXT 表示に対応しています。

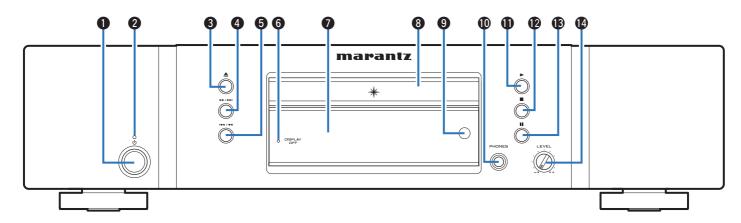
- **16 文字・2 行表示の大型表示管**
  MP3 ファイルの再生中、大型表示管に文字情報を表示します。

ステレオ音のエチケット

- 隣近所への配慮(おもいやり)を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

各部の名前

フロントパネル

❶ 電源ボタン（⏻）

電源をオン/オフ（スタンバイ）します。(☞25 ページ)

❷ 電源表示

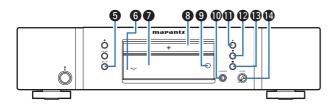
電源の状態によって、次のように点灯します。

- 電源オン時：消灯
- 通常のスタンバイ時：赤色

❸ ディスクトレイ開閉ボタン（⏏）

ディスクトレイを開閉します。(☞27 ページ)

❹ スキップ/早送りボタン（▶▶/▶▶I）

次の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早送りします。(☞28、34 ページ)

❺ スキップ/早戻しボタン(⏮/◀◀)

再生中の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早戻しします。(☞28、34 ページ)

❻ ディスプレイオフ表示(DISPLAY OFF)

ディスプレイの明るさが消灯のときに点灯します。(☞26 ページ)

❼ ディスプレイ

各種情報を表示します。(☞10 ページ)

❽ ディスクトレイ

ディスクを挿入します。(☞27 ページ)

❾ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。(☞6 ページ)

❿ ヘッドホン端子(PHONES)

ヘッドホンを接続します。

ご注意

ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

⓫ 再生ボタン(▶)

再生をはじめます。(☞28、34 ページ)

⓬ 停止ボタン(■)

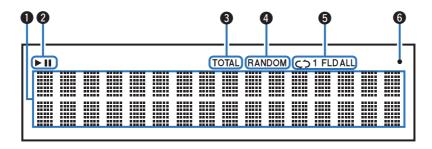
再生を停止します。(☞28、34 ページ)

⓭ 一時停止ボタン(❚❚)

再生を一時停止します。(☞28、34 ページ)

⓮ ヘッドホン音量調節つまみ(LEVEL)

ヘッドホンの音量を調節します。

ディスプレイ

❶ **インフォメーションディスプレイ**
再生時間表示など、各種情報を表示します。

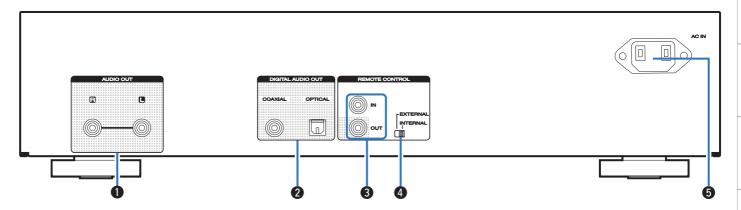
❷ **再生モード表示**
▶:再生中に点灯します。
❚❚:一時停止中に点灯します。

❸ **トータル時間表示**
ディスクに収録されている全曲数および全収録時間を表示しているときに点灯します。

❹ **RANDOM 表示**
ランダム再生中に点灯します。
(☞28、34 ページ)

❺ **リピートモード表示**
リピートモードの設定に合わせて点灯します。
(☞28、34 ページ)

❻ **リモコン受信表示**
リモコンからの信号を受信したときに点灯します。

リアパネル

❶ アナログ音声出力端子(AUDIO OUT)
アナログ音声入力端子付きの機器や外部のアンプを接続します。(☞19 ページ)

❷ デジタル音声出力端子(COAXIAL/OPTICAL)
デジタル音声入力端子付きの AV レシーバーや D/A コンバーターを接続します。(☞20 ページ)

❸ リモートコントロール端子
リモートコントロール機能付きのマランツ製アンプを接続するときに使用します。(☞21 ページ)

❹ EXTERNAL/INTERNAL スイッチ
アンプとリモートコントロール接続し、スイッチを"EXTERNAL"に切り替えると、アンプがリモコン信号を受信して、本機はアンプからのリモコン信号を受けて動作します。(☞21 ページ)

❺ AC インレット(AC IN)
電源コードを接続します。(☞23 ページ)

リモコン

■ 本機の操作

本機を操作するときは、リモートモード CD 切り替えボタン（REMOTE MODE CD）を押して、リモコンを本機の操作モードに切り替えます。

- リモートモード CD 切り替えボタン（REMOTE MODE CD）が約 2 秒間点灯します。

❶ 電源ボタン（⏻）

本機の電源をオン/オフ（スタンバイ）します。
(☞25 ページ)

❷ リモートモード CD 切り替えボタン（REMOTE MODE CD）

リモコンの操作モードを CD に切り替えます。

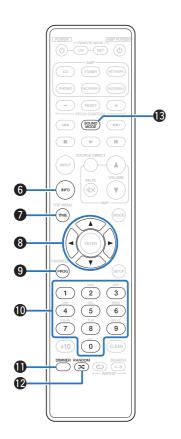
❸ ピッチコントロールボタン（PITCH CONTROL −、RESET、+）

再生スピード（ピッチ）を変えて再生することができます。
(☞29 ページ)

❹ スキップボタン（⏮、⏭）

曲の先頭にスキップします。長押しすると、早戻しまたは早送りします。(☞28、34 ページ)

❺ 停止ボタン（■）

再生を停止します。(☞28、34 ページ)

❻ インフォメーションボタン(INFO)
再生中の曲情報などをディスプレイに表示します。
(☞32、35、39 ページ)

❼ 時間表示切り替えボタン(TIME)
再生時間の表示(再生曲の経過時間、再生曲の残り時間および全曲の残り時間)を切り替えます。
(☞28、34 ページ)

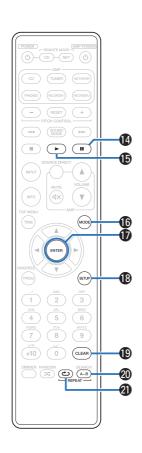
❽ カーソルボタン(△▽◁ ▷)
項目を選択します。(☞34、37 ページ)

❾ プログラムボタン(PROG)
プログラム再生をします。(☞30 ページ)

❿ 数字ボタン(0〜9)
数値を入力します。
(☞28、30、35 ページ)

⓫ 明るさ調節ボタン(DIMMER)
ディスプレイの明るさを調節します。(☞26 ページ)

⓬ ランダムボタン(RANDOM ⤮)
ランダム再生をします。(☞28、34 ページ)

⓭ サウンドモード切り替えボタン
サウンドモードを切り替えます。(☞26 ページ)

⓮ 一時停止ボタン（❚❚）

再生を一時停止します。(☞28、34 ページ)

⓯ 再生ボタン（▶）

再生をはじめます。(☞28、34 ページ)

⓰ 再生モード切り替えボタン（MODE）

再生モードを切り替えます。(☞34 ページ)

⓱ エンターボタン（ENTER）

選択した内容を確定します。(☞35、37 ページ)

⓲ セットアップボタン（SETUP）

メニューの設定をします。(☞37 ページ)

⓳ クリアボタン（CLEAR）

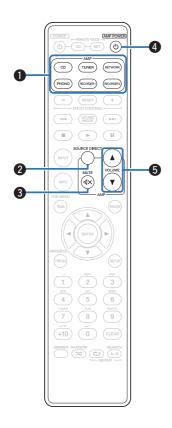
プログラムの登録を取り消します。(☞31 ページ)

⓴ A-B 間リピートボタン（REPEAT A-B）

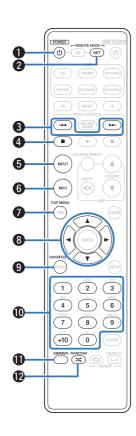
A-B 間リピート再生をします。(☞30 ページ)

㉑ リピートボタン（REPEAT ⮌）

リピート再生をします。(☞28、34 ページ)

リモートモードが“CD”のときも、アンプの操作ボタンでアンプを操作できます。

■ アンプの操作

マランツ製アンプを操作できます。

❶ 入力ソース切り替えボタン
❷ ソースダイレクトボタン（SOURCE DIRCET）
❸ 消音ボタン（MUTE 🔇）
❹ 電源ボタン（AMP POWER ⏻）
❺ 音量調節ボタン（VOLUME ▲▼）

■ ネットワークオーディオプレーヤーの操作

マランツ製ネットワークオーディオプレーヤーを操作するときは、リモートモード NET 切り替えボタン（REMOTE MODE NET）を押して、リモコンをネットワークオーディオプレーヤーの操作モードに切り替えます。

- リモートモード NET 切り替えボタン（REMOTE MODE NET）が約 2 秒間点灯します。

❶ 電源ボタン（⏻）

❷ リモートモード NET 切り替えボタン（REMOTE MODE NET）

❸ スキップボタン（⏮、⏭）

❹ 停止ボタン（■）

❺ 入力ソース切り替えボタン（INPUT）

❻ インフォメーションボタン（INFO）

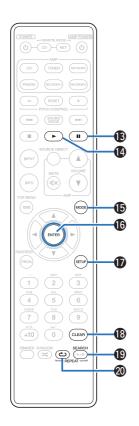
❼ トップメニューボタン（TOP MENU）

❽ カーソルボタン（△▽◁ ▷）

❾ お気に入りボタン（FAVORITES）

❿ 数字ボタン（0〜9、+10）

⓫ 明るさ調節ボタン（DIMMER）

⓬ ランダムボタン（RANDOM ⤮）

⑬ 一時停止ボタン（❚❚）

⑭ 再生ボタン（▶）

⑮ 再生モード切り替えボタン（MODE）

⑯ エンターボタン（ENTER）

⑰ セットアップボタン（SETUP）

⑱ クリアボタン（CLEAR）

⑲ サーチボタン（SEARCH）

⑳ リピートボタン（REPEAT ⮌）

- リモートモードが“NET” のときも、アンプの操作ボタンでアンプを操作できます。
- ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

接続のしかた

■ 目次

ステレオオーディオアンプを接続する	19
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	20
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	21
オーディオタイマーに接続する	22
電源コードを接続する	23

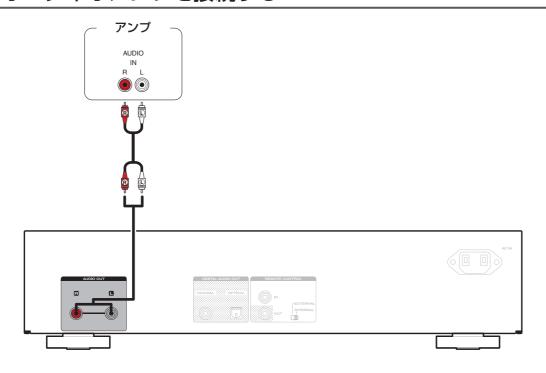
ご注意

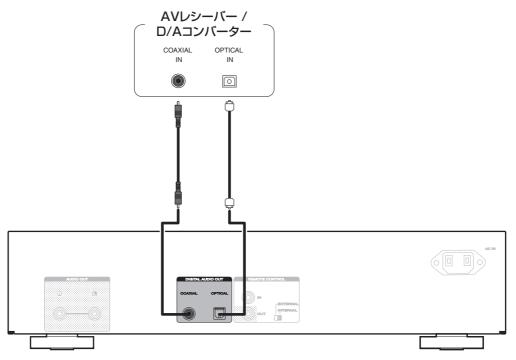
- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

ケーブル	
オーディオケーブル（付属）	
リモート接続ケーブル（付属）	
光伝送ケーブル（別売り）	
同軸デジタルケーブル（別売り）	

ステレオオーディオアンプを接続する

デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声入力端子付きの AV レシーバーや D/A コンバーターを接続すると、デジタル音声を再生できます。

リモートコントロール端子付きの機器を接続する

本機とマランツ製のアンプをリモート接続すると、本機はアンプが受信したリモコン信号をアンプから入力して動作します。
次の「接続」と「設定」をおこなってください。

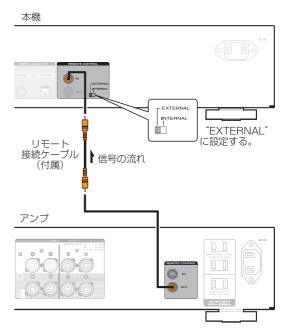
接続

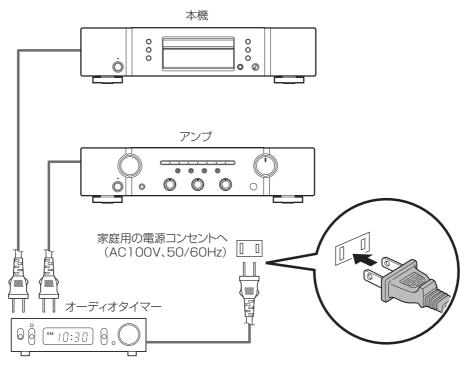
付属のリモート接続ケーブルを使用して、本機の REMOTE CONTROL IN 端子とアンプの REMOTE CONTROL OUT 端子を接続します。

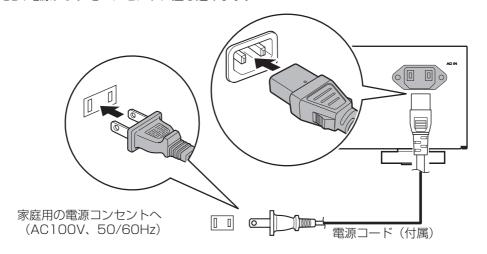
設定

本機の EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“EXTERNAL” に切り替えます。

- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

アンプを接続せずに本機のみご使用になる場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL” に切り替えてください。

オーディオタイマーに接続する

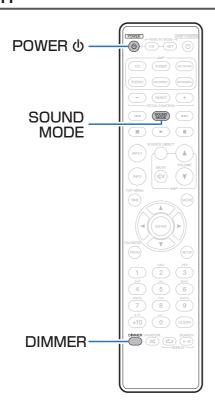
本機にアンプおよびオーディオタイマーを接続すると、タイマー再生ができます。
(「Timer Play（タイマー再生）」(☞38 ページ))

電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。

再生のしかた

■ 目次

基本操作　25

CD を再生する　27

データ CD（MP3 および WMA ファイル）を再生する　33

電源を入れる

1 POWER ⏻ を押して、電源を入れる。

電源表示が消灯します。

本体の ⏻ を押しても、電源を入れることができます。

■ 電源をスタンバイにする

1 POWER ⏻ を押す。

電源表示が赤色に点灯します。

目次
接続のしかた
再生のしかた
設定のしかた
困ったときは
付録

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを 4 段階に切り替えることができます。

1 **DIMMER を押す。**

サウンドモードを切り替える

本機のデジタル出力およびディスプレイ表示をオフにすることにより、さらに高音質で再生します。

1 **停止中に SOUND MODE を押す。**

Audio EX OFF（お買い上げ時の設定）：

Audio EX モードを設定しません。

- ピッチコントロール再生：有効
- デジタル出力：あり
- ディスプレイ表示：あり

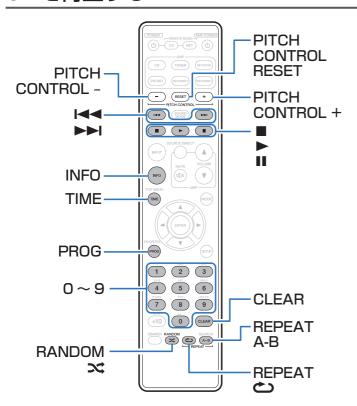
Audio EX 1：Audio EX OFF モードより高音質な再生をします。

- ピッチコントロール再生：無効
- デジタル出力：なし
- ディスプレイ表示：あり

Audio EX 2：最も高音質な再生をします。

- ピッチコントロール再生：無効
- デジタル出力：なし
- ディスプレイ表示：なし（再生中）

サウンドモードが Audio EX2 のときに DIMMER を押すと、約 3 秒間ディスプレイ表示をオンにします。

CDを再生する

CDを再生する

1 ディスクを入れる。(☞50 ページ)

- 本体の ⏏ を押すと、ディスクトレイが開閉します。

2 ▶ を押す。

ディスプレイの ▶ 表示が点灯し、再生をはじめます。

ご注意

- ディスクトレイには CD 以外の物を入れないでください。故障の原因となります。
- 電源がスタンバイの状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

操作ボタン	機能
▶	再生
❚❚	一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ
	(長押し)早戻し/早送り
0 ～ 9	曲の選択
RANDOM ⤮	ランダム再生
REPEAT ⟲	リピート再生 • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
REPEAT A-B	A-B 間リピート再生(☞30 ページ)
TIME	時間表示切り替え • 再生曲の経過時間、再生曲の残り時間および全曲の残り時間の表示を切り替えます。

■ 好きな曲を聴く(ダイレクト選曲)

1 0～9 を押して、曲を選ぶ。

【 例 】

4 曲目:

数字ボタンの 4 を押す。

12 曲目:

数字ボタンの 1 と 2 を続けて押す。

数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

スピードを変えて再生する（ピッチコントロール再生）

音楽用 CD（CD-DA）の再生中に、再生スピード（ピッチ）を変えて再生することができます。

■ 再生スピードを早くする

1 PITCH CONTROL + を押す。

- ディスプレイに"PITCH"を表示し、ボタンを押すたびに再生スピードが早くなります（最大＋ 12 まで）。

■ 再生スピードを遅くする

1 PITCH CONTROL - を押す。

- ディスプレイに"PITCH"を表示し、ボタンを押すたびに再生スピードが遅くなります（最大－12 まで）。

■ 通常の再生スピードに戻す

1 PITCH CONTROL RESET を押す。

- ディスプレイの"PITCH"表示が消灯し、ディスプレイに"Pitch: 0"を表示します。
- もう一度 PITCH CONTROL RESET を押すと、設定していた再生スピードに戻ります。

ご注意

- ピッチコントロール機能は、Audio EX の設定が"Audio EX OFF"のときのみ有効です。(☞26 ページ)
- MP3 や WMA ファイルは、ピッチコントロール再生ができません。

A-B 間リピート再生をする

曲の中で聴きたい部分だけを指定して、くり返し再生します。

1　再生中、くり返し再生したい部分の始点で REPEAT A-B を押す。

ディスプレイに“Repeat A-”を表示します。

2　くり返し再生したい部分の終点で、REPEAT A-B を押す。

ディスプレイに“Repeat A-B”を表示し、指定した部分（A 点〜B 点）をくり返し再生します。

■ A-B 間リピート再生を解除する

A-B 間リピート再生中に REPEAT A-B を押す。

ランダム再生中は、A-B 間リピート再生ができません。

お好みの順序で再生する（プログラム再生）

最大 25 曲までプログラム再生ができます。

1　停止中に、PROG を押す。

ディスプレイに“Program”を表示します。

2　0〜9 を押して、曲を選ぶ。

【 例 】

4 曲目：数字ボタンの 4 を押す。

12 曲目：数字ボタンの 1 と 2 を続けて押す。

- 数字ボタンを押してから約 1.5 秒後に入力が確定します。2 桁の番号を押すときは数字ボタンを続けて押してください。

3　► を押す。

プログラムした曲順に再生をはじめます。

- プログラム再生中に RANDOM を押すと、プログラムした曲をランダムに再生します。
- プログラム再生中に REPEAT を押すと、プログラムした曲順にくり返し再生します。

ご注意

ディスクトレイを開いたり電源を切ったりすると、プログラムを解除します。

■ プログラムした曲順を確認する

停止中に ▶▶I を押す。

▶▶I を押すたびに、プログラムした曲順で曲番を表示します。

■ プログラムした曲を取り消す

停止中に CLEAR を押す。
最後にプログラムした曲を取り消します。
CLEAR を押すたびに、最後にプログラムした曲から順に取り消します。

■ プログラムした曲をすべて取り消す

停止中に PROG を押す。

特定の曲をとばして再生する（デリートプログラム再生）

最大 25 曲までデリートプログラム再生ができます。

1 停止中に PROG を押して、CLEAR を押す。
ディスプレイに"Delete Program" を表示します。

2 0〜9 を押して、とばしたい曲を選ぶ。
【 例 】
3 曲目、12 曲目をとばしたいときは、3 を押したあとに、1 と 2 を続けて押す。

3 ▶ を押す。
選択した曲をとばして再生をはじめます。

■ デリートプログラムした曲を確認する

停止中に ▶▶I を押す。

▶▶I を押すたびに、とばした曲を順番にディスプレイに表示します。

■ デリートプログラムした最後の曲を取り消す

停止中に CLEAR を押す。
最後にデリートプログラムした曲を取り消します。

CLEAR を押すたびに、デリートプログラムした最後の曲から順に取り消します。

■ デリートプログラムした曲をすべて取り消す

停止中に PROG を押す。

ディスプレイ表示を切り替える（CD-TEXT）

- CD-TEXT が記録されたディスクの文字情報を見ることができます。

主に再生中の曲の情報を表示します。

- 表示文字数は最大 32 文字です。
- 英数字のみ対応しています。

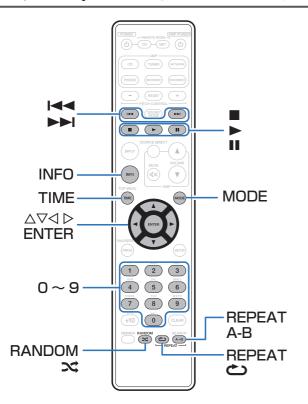
1 再生中に INFO を押す。

曲名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示します。

INFO を押したときに、最初に表示させたい情報を設定できます。
設定のしかたは、「Display Info（ディスプレイ表示）」(☞39 ページ)をご覧ください。

ご注意

ディスクによってはすべての情報を表示できないことがあります。

データ CD（MP3 および WMA ファイル）を再生する

- CD-R または CD-RW に記録された MP3 および WMA ファイルの再生のしかたを説明します。CD-R または CD-RW 以外のメディアに記録しているファイルの再生については、それぞれの項目をご覧ください。
- インターネットのホームページ上には、MP3 形式や WMA（Windows Media® Audio）形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。それらのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）を CD-R または CD-RW に書き込むことにより、本機で再生できます。

ファイルを再生する

1 MP3 および WMA 形式の音楽ファイルを記録した CD-R/CD-RW をディスクトレイに入れる。(☞50 ページ)

- 本体の ⏏ を押すとディスクトレイが開閉します。

2 MODE を押して、"Folder mode"または"All mode"を選ぶ。

ディスプレイ表示について

- "Folder mode"を選択したとき
  ディスプレイの"FLD"表示が点灯します。
  選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
- "All mode"を選択したとき
  ディスプレイの"FLD"表示が消灯します。
  選択したフォルダやファイルを再生したあと、すべてのフォルダ内のすべての曲を再生します。

3 △▽ を押して、再生したいフォルダを選ぶ。

4 ◁ ▷ を押して、再生したいファイルを選ぶ。

5 ▶ を押す。

再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶	再生
❚❚	一時停止
■	停止
⏮ ⏭	前の曲にスキップ/次の曲にスキップ (長押し)早戻し/早送り
△ ▽	フォルダを選択
◁ ▷	ファイルを選択
0～9	ダイレクト選曲
MODE	フォルダ再生モードへの切り替え • 選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
RANDOM 🔀	ランダム再生
REPEAT 🔁	リピート再生 • 全曲リピートと 1 曲リピートを切り替えます。
REPEAT A-B	A-B 間リピート再生(☞30 ページ)
TIME	時間表示切り替え • 再生曲の経過時間と再生曲の残り時間の表示を切り替えます。

本機はディスク読み込み時にフォルダとファイルの番号を自動的に設定します。

ご注意

- ディスクのMP3およびWMAファイルを再生するときにプログラム再生はできません。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
  （この場合、“Not Support” を表示します。）
  また、書き込みソフトやその他の要因により再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

■ 再生できるファイル（拡張子）(☞47ページ)

■ 再生中にフォルダやファイルを変更する

- フォルダ
  △▽を押してフォルダを選び、ENTERを押す。
- ファイル
  ◁ ▷を押してファイルを選び、ENTERを押す。
  または、I◀◀、▶▶Iを押してファイルを選ぶか、0〜9を押してファイル番号を選ぶ。
- ファイル番号は、ディスク読み込み時に自動で設定します。

■ ディスプレイ表示を切り替える

再生中にINFOを押す。

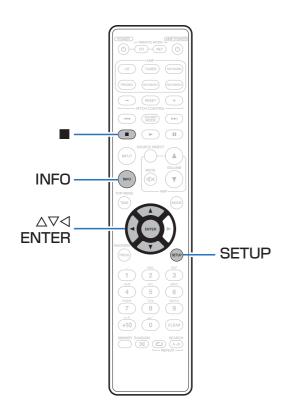
- ファイル名、曲名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 0123456789 ! ” # $ % & : ; < > ? @ \ [ ] _ ` l { } ~ ^ ’ ( ) * + 、 - . / = （空白）

設定のしかた

設定メニュー 一覧

お買い上げ時の設定のままお使いいただくことをおすすめしますが、お好みにより設定してください。

設定項目	内　容	参照ページ
Digital Out（デジタル出力）	デジタル音声信号出力をするかしないかを設定します。	38
Timer Play（タイマー再生）	別売りの外部オーディオタイマーと連動したタイマー再生をするかしないかを設定します。	38
Display Info（ディスプレイ表示）	CD-TEXT ディスク、MP3 および WMA ファイルの再生中に表示する情報を設定します。	39
Auto Standby（オートスタンバイ）	本機が停止状態で何も操作しない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。	39

メニューの操作のしかた

1　停止中に SETUP を押す。

ディスプレイにメニューを表示します。

2　△▽ を押して設定または操作したいメニューを選び、ENTER を押す。

3　△▽ を押して、お好みの設定に変更する。

4　ENTER を押して、設定を確定する。

- 前の項目に戻るときは、◁ を押してください。
- メニューを終了するときは、メニュー表示中に SETUP を押してください。通常表示に戻ります。

Digital Out（デジタル出力）

デジタル音声信号出力をするかしないかを設定します。

On （お買い上げ時の設定）：	デジタル音声信号を出力します。
Off：	デジタル音声信号を出力しません。

Timer Play（タイマー再生）

別売りの外部オーディオタイマーと連動したタイマー再生をするかしないかを設定します。
(「オーディオタイマーに接続する」(☞22 ページ))

On：	タイマー再生を設定します。
Off （お買い上げ時の設定）：	タイマー再生を設定しません。

■ タイマー再生のしかた

1. 接続した機器の電源を入れる。
2. ディスクを入れる。
3. アンプの入力ソースを本機に切り替える。
4. オーディオタイマーをタイマー再生を開始する時間に設定する。
5. オーディオタイマーのタイマーモードをオンにする。
6. オーディオタイマーに接続した機器の電源がオフになります。
   設定した時間になると接続した機器の電源がオンになり、再生をはじめます。

ご注意

タイマー再生ではランダム再生やプログラム再生はできません。

Display Info（ディスプレイ表示）

CD-TEXT ディスク、MP3 および WMA ファイルの再生中に表示する情報を設定します。

File Name （お買い上げ時の設定）：	ファイル名を表示します。
Title：	曲名を表示します。
Artist：	アーティスト名を表示します。
Album：	アルバム名を表示します。

再生中にリモコンの INFO を押しても、表示する情報を切り替えることができます。

Auto Standby（オートスタンバイ）

本機が停止状態で何も操作しない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。

On：	本機をオートスタンバイモードに設定します。
Off （お買い上げ時の設定）：	本機をオートスタンバイモードに設定しません。

困ったときは

■ 目次

こんなときの解決方法

アナログ音声を高音質に再生したい 41
CD-TEXT を表示したい 41
CD の再生したくない曲をとばして再生したい 41
特定の範囲をリピート再生したい 41
特定のフォルダのみを再生したい 41
CD の再生スピードを変えて再生したい 41
本機のリモコンを使用してマランツ製ネットワークオーディオプレーヤーを操作したい 41

故障かな？と思ったら

電源が入らない/電源が切れる 42
リモコンで操作ができない 43
本機のディスプレイが表示されない 43
音がまったく出ない 44
ディスクが再生できない 44

こんなときの解決方法

アナログ音声を高音質に再生したい

- Audio EX の設定をおこない、デジタル出力とディスプレイ表示をオフにしてください。(☞26 ページ)

CD-TEXT を表示したい

- 本機は CD-TEXT 表示に対応しています。INFO を押して、ディスプレイ表示を切り替えてください。(☞32 ページ)

CD の再生したくない曲をとばして再生したい

- デリートプログラム再生機能で、スキップしたい曲を選択してください。(☞31 ページ)

特定の範囲をリピート再生したい

- A-B 間リピート再生を設定してください。(☞30 ページ)

特定のフォルダのみを再生したい

- リモコンの MODE を押して再生範囲の設定を"Folder mode"に切り替えてから、再生したいフォルダを選択して再生してください。(☞34 ページ)

CD の再生スピードを変えて再生したい

- 本機はピッチコントロール機能を搭載しています。リモコンの PITCH CONTROL +または-を押して再生スピードを変えてください。(☞29 ページ)

本機のリモコンを使用してマランツ製ネットワークオーディオプレーヤーを操作したい

- リモコンのリモートモード NET 切り替えボタン(REMOTE MODE NET)を押して、リモコンをネットワークオーディオプレーヤーの操作モードに切り替えてください。(☞16 ページ)
- ネットワークオーディオプレーヤーの操作方法については、ネットワークオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、初めに次のことを確認してください。

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. スピーカーやプレーヤーは正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってご確認ください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様ご相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない / 電源が切れる

症状	原因 / 対策	関連ページ
電源が入らない。	• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。	23
	• スタンバイモードになっています。本体の ⏻ を押すかリモコンの POWER ⏻ を押してください。	25
電源が自動的に切れる。	• オートスタンバイモードの設定が“On”です。オートスタンバイモードでは本機が停止状態で何も操作しない状態が 30 分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になります。オートスタンバイモードを解除するには、メニューの“Auto Standby”を“Off”に設定してください。	39

■ リモコンで操作ができない

症状	原因 / 対策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	• 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	6
	• リモコンは、本機から約 7m および 30°以内の範囲で操作してください。	6
	• 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	–
	• 乾電池の ⊕ と ⊖ を正しくセットしてください。	6
	• 本機のリモコン受光部に強い光(直射日光、インバーター式蛍光灯の光など)があたっています。受光部に強い光があたらない場所に設置してください。	–
	• 3D 映像機器をご使用の場合、各ユニット間(テレビや 3D 視聴用メガネなど)の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D 通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	–
	• リモコンのリモートモード CD 切り替えボタン(REMOTE MODE CD)を押して、リモコン操作モードを“CD”にしてください。	12
	• アンプをリモート接続せずに、本機のみご使用になる場合は、EXTERNAL/INTERNAL スイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。	21

■ 本機のディスプレイが表示されない

症状	原因 / 対策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	• リモコンの DIMMER ボタンを押して、“Off”以外の設定に切り替えてください。	26
	• サウンドモードを“Audio EX 2”にすると、ディスプレイの表示が消えます。	26

■ 音がまったく出ない

症状	原因 / 対策	関連ページ
音が出ない。または歪む。	• すべての機器の接続を確認してください。	18
	• 接続ケーブルを奥まで挿してください。	–
	• 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。	–
	• ケーブルが破損していないか確認してください。	–
	• アンプの設定を確認し、適切に調節してください。	–

■ ディスクが再生できない

症状	原因 / 対策	関連ページ
再生ボタンを押しても再生しない、またはディスクの特定の場所が正しく再生できない。	• ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。	51
CD-R/CD-RW が再生できない。	• ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。	47
	• 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。	–
	• 本機のデータ CD 再生機能は MP3 および WMA ファイルのみに対応しています。	47
ディスプレイに"No Disc"と表示される。	• ディスクを裏返しに入れた場合やディスクが入っていない場合には、"No Disc"を表示します。	50
ディスプレイに"00Tr 00:00"と表示される。	• 再生できないディスクを入れた場合には、ディスプレイに"00Tr 00:00"を表示します。	50

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。
  保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から 1 年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

■ 補修部品の保有期間

本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただけずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 持ち込み修理対象製品の出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるときのために、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名・・・・・・・取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号・・・保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

付録

再生できるメディア

ディスク

再生できるメディア	
CD	COMPACT disc DIGITAL AUDIO
CD-R	COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable
CD-RW	COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable

ご注意

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

ファイル

次のフォーマットで作成された CD-R または CD-RW ディスクを再生します。

■ ライティングソフトのフォーマット

ISO9660 レベル 1、2
拡張フォーマット（ジュリエット、ロメオ）

■ 他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

再生可能な最大ファイル数とフォルダ数
最大フォルダ数：255 個
最大ファイル数：255 個

■ タグ情報

ID3 タグ（Ver.1.x と 2.x）
WMA タグ
（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

再生できるファイル（拡張子）	ファイルの仕様
MP3（.mp3）	• サンプリング周波数：32/44.1/48kHz
	• ビットレート：32kbps～320kbps
	• ファイルフォーマット：MPEG1 Audio Layer 3
WMA（.wma）	• サンプリング周波数：32/44.1/48kHz
	• ビットレート：64kbps～192kbps
	• ファイルフォーマット：Windows Media Audio

ご注意

- ファイルには必ず拡張子".MP3"".WMA"を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。

MP3/WMA ファイルの再生順番について

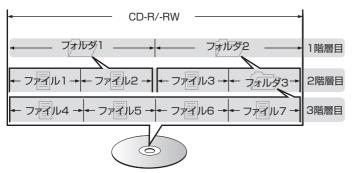
MP3/WMA ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

CD-R/CD-RW

CD-R や CD-RW ディスクに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ・・・・・・、の順番に再生します。

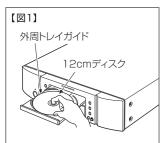
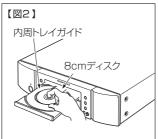
- パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- CD-R/CD-RW のライティングソフトによっては、再生する順番が異なる場合があります。

フォルダとファイルについて

CD-R/-RW に記録された MP3/WMA ファイルは、いくつかの大きな区切り（フォルダ）と小さな区切り（ファイル）に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は 8 階層まで認識できます。

- MP3/WMA ファイルを CD-R/-RW に書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは「ISO9660」でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正しく再生できないことがあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。

メディア使用時のご注意

ディスクの入れかた

- 記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cm ディスクは外周トレイガイド（図 1）に合わせ、8cm ディスクは内周トレイガイド（図 2）に合わせて、水平に載せてください。

- 8cm ディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。

- 再生できないディスクを入れた場合には、ディスプレイに"00Tr 00:00"を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、ディスプレイに"No Disc"を表示します。

ご注意

- ディスクは 1 枚だけ入れてください。2 枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- レンタルディスクのラベルやセロハンテープなどの糊がはみ出したものや、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因になることがあります。
- 特殊形状のディスクの再生は、故障の原因になりますので使用しないでください。

- 電源がスタンバイ状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

メディアの取り扱いについて

- 指紋·油·ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷をつけないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ディスクの中心の穴を大きくしないでください。
- ディスクのレーベル面(印刷面)にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ディスクを屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクの表面に水滴がつくことがありますが、ヘアードライヤーなどで乾かさないでください。
- 次のような場所に置かないでください。

1. 直射日光が長時間当たるところ
2. 湿気·ほこりなどが多いところ
3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れをふき取ってからご使用ください。
- ふき取りには、別売りのディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。

内周から外周方向へ軽くふく。

円周に沿ってはふかない。

ご注意

レコードスプレー·帯電防止剤や、ベンジン·シンナーなどの揮発性の薬品は、使用しないでください。

用語の解説

MP3 (MPEG Audio Layer-3)

音声データ圧縮方式の 1 つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽 CD 並の音質を保ったままデータ量を約 1/11 に圧縮できます。

WMA (Windows Media Audio)

米国 Microsoft Corporation によって開発された音声圧縮技術です。

WMA データは、Windows Media® Player を使用してエンコード（符号化）することができます。

WMA ファイルは、米国 Microsoft Corporation より認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。

1 秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

ビットレート（Bit rate）

ディスクに記録された映像/音声データを 1 秒あたりに何ビット処理したかを表わします。

ファイナライズ

CD レコーダーや CD ドライブで録音された CD を、再生対応機器で再生できるように処理することです。

リニア PCM

圧縮していない PCM（Pulse Code Modulation）信号です。MP3 などの非可逆圧縮音源と異なり、音質やダイナミックレンジの低下がありません。

主な仕様

■ オーディオ特性

• アナログ出力

チャンネル:	2 チャンネル
再生周波数範囲:	2Hz〜20kHz
再生周波数特:	2Hz〜20kHz(±0.5dB)
SN 比:	110dB
ダイナミックレンジ:	100dB
高調波歪率:	0.002%(1kHz)
ワウ・フラッター:	水晶精度

• 出力レベル

信号方式:	2.35V RMS stereo
ヘッドホン出力:	28mW/32Ω(可変最大)

• デジタル出力

同軸出力(ピンジャック)	0.5Vp-p/75Ω
光出力(角型光コネクター)	–19dBm

• 光学読み取り方式

レーザー:	AlGaAs
波長:	780nm
信号方式:	16-bit リニア PCM
サンプリング周波数:	44.1kHz

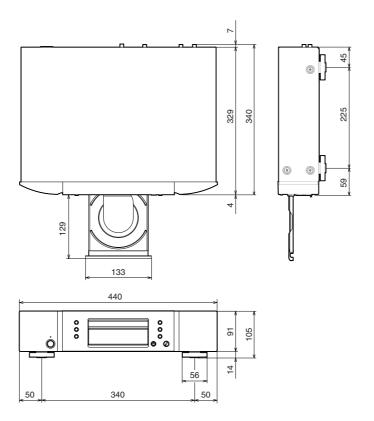
■ 総合

電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	14W
スタンバイ時の消費電力:	0.35W 以下
許容動作温度:	+5℃〜+35℃
許容動作湿度:	5〜90%(結露のないこと)

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 寸法(単位:mm)

■ 質量:5.0kg

索引

☞ A

A-B 間リピート再生 30
Audio EX 26
AV レシーバーの接続 20

☞ C

CD-TEXT 32
CD の再生 27

☞ D

D/A コンバーターの接続 20

☞ M

MP3 ファイルの再生 33

☞ W

WMA ファイルの再生 33

☞ あ

アンプの接続 19

☞ お

オーディオタイマー 22
オートスタンバイ 39

☞ か

乾電池の入れかた 6

☞ こ

故障かな？と思ったら 42
こんなときの解決方法 41

☞ さ

サンプリング周波数 48, 52

☞ せ

接続に使用するケーブル 18

☞ た

ダイナミックレンジ 52
ダイレクト選曲 28

☞ て

ディスプレイ 10
ディスプレイの明るさ 26
データ CD の再生 33
デリートプログラム再生 31
電源コードの接続 23
電源を入れる 25

☞ ひ

ピッチコントロール再生 29
ビットレート 52

☞ ふ

ファイナライズ 52
付属品 5
プログラム再生 30
フロントパネル 8

☞ ほ

保証と修理について 45

☞ め

メニュー一覧 36

☞ ら

ランダム再生 28, 34

☞ り

リアパネル 11
リニア PCM 52
リピート再生 28, 34
リモートコントロール 21
リモコン 12

marantz®

お客様ご相談センター

☎ 0570（666）112

【電話番号はお間違えのないようにおかけください。】

IP 電話をご利用の場合など、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。その場合は 03（3570）5138 におかけください。

受付時間　9：30 ～ 17：30
（当社休日および祝日を除く、月～金曜日）

〒 210-8569　神奈川県川崎市川崎区日進町 2 番地 1　D&M ビル

修理に関するお問い合わせは、
添付の**「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」**をご覧ください。

後日のために記入しておいてください。

購 入 店 名：	**電話（　　-　　-　　）**
ご購入年月日：	**年　　月　　日**

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

当社の最新情報をインターネット上でご覧ください。
http://www.marantz.jp

Printed in China　5411 11175 00AM